

株式市場概況

先週の動き（1月11日～1月15日）

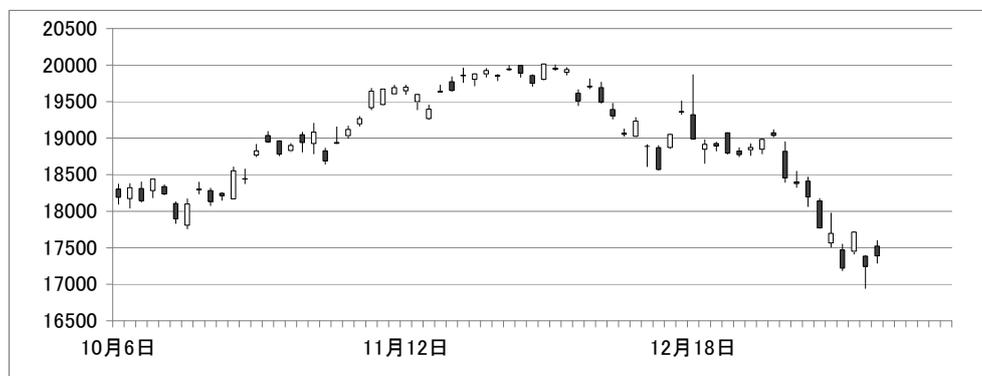
日本市場が休場の11日の朝に、ドル円が116円台に突入、南アフリカランドが6.5円に急落するなど、為替市場で波乱模様となった。動きは朝方のみで、その後収束したが、市場が不安定であることを印象付けた。

株価の動きは依然として動きの激しい展開が継続している。先週の日経平均株価の動きを見ると、火曜日には17,200円代で引けたが、水曜日には17,700円に反発。しかし木曜日には一時的に17,000円を割り込み、金曜の朝方には17,600円まで上昇するも17,100円まで押し戻されるという乱高下である。

動きの要因は海外要因ばかりと言われるが、日経平均株価の予想EPSが低下し始めていることや、軽減税率の財源に外為特会の活用が検討されているとの報道に円高がイメージされたことなど国内要因もある。日経平均株価は前週末比-3.11%の1万7,147円で取引を終えた。

注目される中国の動向だが、人民元、株価共に安くなる傾向に変化はなかった。為替市場では、香港で取引される人民元（オフショア）の方が、中国で取引される人民元（オンショア）よりも安くなる傾向が継続していたが、12日に香港の人民元のオーバーナイト金利が66.815%まで上昇し、オフショア人民元が一時的にオンショア人民元より安くなる場面があった。中国当局がオフショアの人民元の下落を嫌気して介入したものと見られる。

日経平均株価（2015年10月6日～）



セクター別では、空運が原油価格の下落を好感して、唯一の上昇となった。下落は鉱業、石油石炭の原油関連が下落トップ1、2だった。昨年来堅調だった医薬品がそれに続いている。

スタイルインデックスでは、こここのところ下落幅が小さかったマザーズが下落率トップとなり、小型にも下落の影響が及んできたことが窺える。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)				
空運	3.55%	鉱業	-6.07%	REIT指数	-0.80%	TOPIXスモール	-2.13%
倉庫運輸	-0.08%	石油石炭	-4.70%	ミッド400	-1.68%	TOPIXL70	-2.21%
ゴム製品	-0.56%	医薬品	-3.79%	TOPIXグロース	-1.91%	東証2部	-2.56%
繊維製品	-0.68%	保険	-3.74%	TOPIXバリュー	-1.98%	日経平均株価	-3.11%
その他金融	-0.68%	海運	-3.67%	TOPIX	-2.00%	マザーズ	-5.10%
金属製品	-0.77%	非鉄金属	-2.97%	コア30	-2.01%		

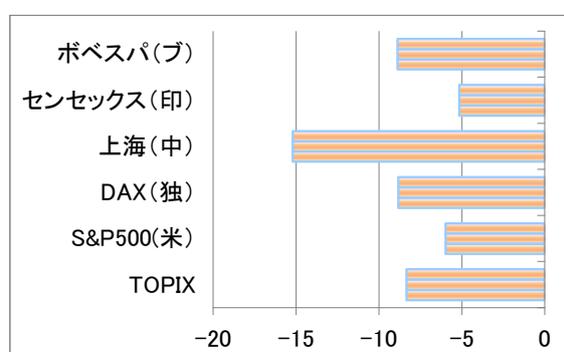
今後の注目点

今回も昨年 8、9 月の中国の混乱の時の様に株価は戻るのではという期待もあるが、果たしてどうだろうか。

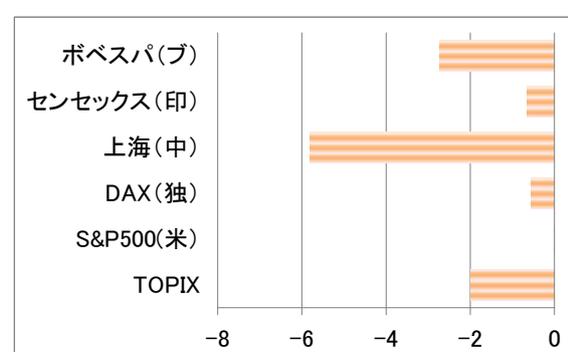
投資環境として当時と異なる点は、米国が年末に政策金利を引き上げたという点が挙げられる。これは最も大きな変化だろう。それ以外には、資金の動きや実体経済に中国経済の減速や原油価格の下落の影響が現れ始めているということだ。米国の製造業の指標は悪化しているし、失業保険の継続受給者は昨年 10 月辺りを底に増加に転じている。

日経平均の予想 EPS の低下もその影響を受けてのものかもしれない。今後、日本企業の決算発表が本格化し始めるが、予想 EPS の低下を食い止められるかもひとつ注目だ。

年初来上昇率 (%) 値は15日引け時点



前週末比 (%) 値は15日引け時点



株式市場需給動向 (1月2週: 1月4日～1月8日)

2016年の取引初めの週は海外投資家が約 1 兆円と大幅に売り越し、個人と投資信託が買い越しとなった。

裁定買い残高は約 7,400 億円減少し、2.5 兆円となった。

投資主体別売買動向 (2016年1月1週)

	現物 (億円)	先物 (億円)	差引 (億円)
自己	-3764.58	5616.93	1852.35
委託	3481.68	-5656.52	-2174.84
自己・委託合計	-282.90	-39.59	-322.49
法人	1786.45	-807.40	979.05
個人	5814.88	568.24	6383.12
海外投資家	-4471.21	-5492.65	-9963.85
証券会社	351.55	75.29	426.84
投資信託	272.45	1103.32	1375.77
事業法人	608.19	-53.60	554.60
その他法人	212.92	28.49	241.41
金融	692.90	-1885.62	-1192.72
生保・損保	169.74	-465.95	-296.21
都銀・地銀	79.63	-711.95	-632.32
信託銀行	345.84	-685.63	-339.79
その他金融機関	97.69	-22.09	75.59

(価格データはロイターによる)

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会
